

# 管理職ユニオンニュース

No368号

2022年12月28日

【発行】  
国土交通省管理職  
ユニオン

【所在地】  
東京都千代田区  
霞ヶ関2-1-2 中央  
合同庁舎2号館  
TEL 03-3509-1138

【Email】  
k-union@aloha.ocn.ne.jp

【ホームページ】  
<http://www.k-unionnetwork/>

## 一年を振り返って

# 無関心でなく 今声をあげる時

国土交通省管理職ユニオン 事務局長 笠井良彦



### ●今年の一文字

## 「戦」?

### 混沌とする 世界と国内情勢

年末の今年の一文字が「戦」となりました。今年一年ウクライナとロシアの戦争が、世界経済に与えた影響は地球規模での、ごく一部の戦闘行動がすぐに世界規模の経済活動に拡大する現実を目の当たりにして、物価高、エネルギー不足、円安と世界経済が生活に密着

していることを改めて感じる一年となっています。

国内情勢においては、欧米諸国、また新興国各国でもインフレ抑制対応・金融緩和縮小の傾向にある一方、いまだに日本は、金融緩和政策の継続姿勢を維持して、大きな円安による物価の高騰を招いています。

4月以降の引き上げは、電気料金の度重なる値上げ等、25%以上の上昇となっています。

### ●戦争不安をあおり、軍拡へ?

### 大切なのは、国民生活の安定と「安全・安心」が第1の政治だ!

このような国民経済の危機的状況にあるにもかかわらず、岸田政権は、法的根拠が全くない安部元首相の国葬を強行し、国民生活保護と戦争不安を題目に財源の根拠がない数字ありきの防衛費GDP2%財政支出

を執行し、将来的に大きな借金を背負わせるとともに軍事大国化の兆しをみせています。

公務員をめぐる情勢は悪化の一途で、3年ぶりの月例給0.23%・勤勉手当10ヶ月引き上げとなりましたが、実態として4級以上は改定無し、ここ数年連続の改定なしにより実質賃金は、大きく減額されています。

さらに、勤勉手当の引き上げも、新たな評価において、良好II B 評価の支給率が92/100となり、ここに隠された減額があり、職員間の

格差を上げ、国民生活優先の公務員の視点を歪めることにつながっています。

今年も第2次補正予算等景気浮揚策としての公共事業を出していますが、経済の両輪である個人消費においては、不調です。個人消費の回復には、公務員賃金上昇が大きく影響していくことは事実です。国交省・内閣人事局も雇用者責任として公務員賃金改善の意見を出す必要があるのではないのでしょうか?

(裏面につづく)

### ■1年を振り返って

## 多発する災害

### 「薄氷を踏む」感覚・・・

### 「安全安心」インフラ整備を!

四国地方では、9月までは過去最大級の濁水に悩まされ、12月には記録的降雪に見舞われる等、激しい気候変動に対応する1年でした。少ない職員の中、薄氷を踏む的な感覚が年々強くなっているのでは無いでしょうか?

真に安全安心なインフラ整備を目指し、増員を勝ち取れるよう、皆で頑張りましょう!

四国支部・石川事務局長

# ○職場の管理職員の「思い」を要求にしていく運動を！

国交管ユニオンは、皆様に毎回数々な活動の協力をお願いしています。我々の運動の基本は、本省・地方整備局当局と敵対する関係ではなく、内部の監査官の役割を担いたいと考えています。

我々の掲げる運動は、管理職が抱えている悩みなど、当局の手の届かない「思い」「要求」をくみ取ることにあると考えています。

下記の図に示す通り、管理職員の意見をアンケート等で直接取り組むユニオンの方法は、対面での意思疎通を含めて、様々な要求を拾い上げ、職場の多数意見として、当局に、提案していくことで災害体制等の職場を充実させ、国民の期待に応える職場へ改善することで、組織としての健全性保



持を支えていくのです。

私たちが壮年世代は、定年延長など新しい施策の実施される変動の時期に立たされています。不安を共有し

立ち向かうためにも、今こそ声を挙げましょう！  
自分自身の職場、処遇に無関心でいることは、危険な兆候です。職場でちゃんと意見が、言えることが大切です。太平洋戦争以前の日本が軍事大国化した時、公務員は国民を弾圧することをさせられたことも気にとめておいてください。

## ■1年を振り返って

### 不足する維持管理費を痛感！ 必要な維持管理費の増額を！！

2011年の東日本大震災から10年が過ぎ去り、三陸道を始めとしたインフラは、東北の復興と経済活動に大きく寄与しており、今後は新型コロナウイルスにより打撃を受けた観光産業も、活気を取り戻すことを期待しています。

一方で、職場で感じることは、河川・道路のインフラが強く・大きくなりましたが、維持管理費が減っていき、人件費や物価の値上りが追い打ちを掛ける状況の中で、職員は必死で知恵を絞って仕事をしています。

命を守り、復興の足がかりとなるインフラを守ることは全国共通です。必要な維持管理費を増やす訴えをさらに広めていきましょう。

東北支部・亀田

## 全国で頑張る地方中執の声！

## ■1年を振り返って

### シニア世代の

### モチベーション維持！

### 技術と経験の継承を！！

防災業務時の交代制やインターバル勤務のあり方、定年延長後の役降り後の働き方、いずれも管理職員の大きな関心事ですが、いまだに具体化は図られていません。シニア職員のモチベーション維持と技術や経験が継承できるような組織体制となるよう求めて行きたいと思えます。

中国支部 末永

## ■一年を振り返って 再任用での再スタート 世の中の変化を実感！

2022年は定年を迎え再任用職員として新たにスタートを切った年でしたが、世の中も色々な意味で見える風景が、大きく変わってきているのを実感した年でもありました。変わりゆく流れの中でも、何が真実で本来は何が正しいのかを考えながら、今後も微力ながら頑張りたいと思えます。

九州支部 興梧